

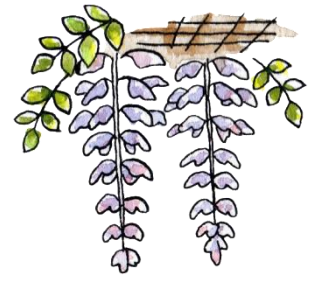
学校だより

5月号

平成28年 4月28日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

場を整える ～新緑の季節に～

校長 井出 了一



新緑がひときわ目に眩しい季節となりました。ハナミズキやイチョウの枝に芽生えた蛍光のような黄緑色の若葉が、日に日に緑の濃さを増しています。子どもたちも、このひと月ですっかり新しい生活に慣れてきたようで、休み時間には、校庭やふれあいパークから元気な声が聞こえてきます。

最近、海外で活躍する日本人や、日本の良さを再発見するような番組を多く見かけます。たまたま見た番組で「日本の小・中学校では、子どもたちが掃除をしている」という話題を取り上げていました。国によっては「清掃は雇った清掃員の仕事」「子どもを働かせるのは虐待の恐れがある」などと言われるそうです。私は小学生の時から、毎朝（あるいは昼や下校前に）掃除の時間があり、みんなで校内の様々な場所を分担して清掃するのを、当たり前だと思っていました。私の母校には校庭に大銀杏の木があり、晩秋には大量の落ち葉と格闘しながらも、終わった時に清々しい気持ちを味わったのを、今でも覚えています。


ところで、サウジアラビアでは、子どもたちが清掃活動に取り組む学校が急増しており、国もこれを支持していて、今では3000校以上で実施されているそうです。「日本の考えを取り入れて」と明記されており、今後も増えそうとのことです。日本の文化が海外で取り入れられることで、その良さを再認識させられました。

本校では、先月もお伝えしたように、行動の実践目標として「挨拶をする・時間を守る・掃除をする」の3点を、折に触れ子どもたちに伝えています。

最後に、私の好きな詩を御紹介します。作者の藤本幸邦氏は長野県円福寺の住職として、終戦直後から戦災孤児救済運動を推進された方です。禅寺の玄関には「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」という札が立ててあるそうです。「自分の足元を見よ」「自分の行いを見よ」という意味ですが、それを子どもにもわかるように、それがいつも行動として身に付くようにと考えたのがこの詩なのだそうです。

はきものを そろえると 心もそろろう
心がそろうと はきものもそろろう
ぬぐとときに そろえておくと
はくとときに 心がみだれない
だれかが みだしておいたら
だまって そろえておいてあげよう
そうすればきつと
世界中の 人の心も そろうでしょう

(円福寺住職 藤本幸邦作)



※ 登下校時の児童の安全を守るために、名札の取り扱いや緊急時の対応のしかたなど、一部を変更しました。裏面にありますので、お子さんと一緒に御確認ください。